

公 1：地下水環境調査研究事業

15,110,899 円

1 地下水環境の現況把握のための調査研究

(1) データベース拡充

国、県、市町村が管理している地下水位及び水質データを収集し、財団の地下水情報管理システムで蓄積、一括管理。

① 地下水位及び水質データの収集・蓄積

区 分	データ収集井戸数（カ所）
水位データ	1 9 8
水質データ	2 7 1

(2) 地下水流動メカニズム解明のための研究

熊本地域水循環モデル及び熊本地域地下水解析モデルの活用による「見える化」を推進。各研究機関等と連携しながら、熊本地域の地下水の現状把握のための調査研究を実施。

① 熊本地域地下水解析モデルの活用

② 地下水データの継続的な収集

ア 江津湖湧水量調査

③ 研究成果の発表

ア 「熊本地震後の地下水質の変化」について日本水環境学会主催 WET で発表

(令和 7 年 7 月 5 日)

イ 「熊本地域の土地利用の変化と地下水涵養量の変化」「熊本地域冬期湛水事業による地下水涵養量の評価」について日本地下水学会 2 0 2 5 年秋季講演会の一般講演で発表

(令和 7 年 1 0 月 1 7 日)

④ 地下水位モニタリングシステム（サントリーと共同構築）を用いて熊本地域 1 2 3 カ所の井戸の令和 6 年地下水位データについて地下水位変化を監視

⑤ 国土交通省、熊本県、熊本市、熊本市上下水道局が管理する観測井について、地下水位の経年変化（平成元年～令和 6 年）及び経月変化（令和 6 年）のグラフを H P で公開。なお、熊本県が管理している地下水位観測井については県 HP で地下水位グラフを公開しているため、財団 HP では県 HP（地下水位グラフ掲載）へのリンクのみ設定。

(3) 新規事業に対する基礎調査

① 減水深調査

推定かん養量の基礎データを蓄積するため、菊池市旭志平地区及び御船町南田代第 1 地区、甲佐町目野地区の新規実施圃場及び大津町真木地区の既存圃場で減水深調査を実施。

2 地下水管理手法の検討

(1) 熊本地域の地下水管理に係る審議

① 大学等専門機関の有識者によるアドバイザー会議の開催

大学等専門機関の有識者で構成するアドバイザー会議では、財団の運営や取組等に対し、支援・助言等を行うとともに、様々な視点から熊本地域の体系的かつ合理的な地下水保全対策を検討。

ア 令和7年10月9日

協議事項：次期熊本地域地下水総合保全管理計画について
令和7年度冬期湛水事業実施計画等について

イ 令和8年1月20日

協議事項：令和7年度事業実施状況について
令和8年度事業計画について
次期計画「くまもと地下水財団第2次基本計画」について

【アドバイザー会議構成メンバー】

市川 勉 氏（東海大学名誉教授）

川越 保徳 氏（熊本大学大学院先端科学研究部教授）

篠原 亮太 氏（熊本県立大学名誉教授）

嶋田 純 氏（熊本大学名誉教授・大学院先端科学研究部特任教授）

田中 浩二 氏（熊本高等専門学校名誉教授）

長野 克也 氏（東海大学名誉教授）

松添 直隆 氏（熊本県立大学環境共生学部教授）

(2) 次期くまもと地下水財団基本計画の策定

令和7年度中に熊本県及び熊本地域11市町村を策定主体とする次期熊本地域地下水総合保全管理計画が策定される予定。

これにあわせ、次期熊本地域地下水総合保全管理計画の目標等との連携を図りながら、次期計画「くまもと地下水財団第2次基本計画」を令和8年度の策定に向けて準備中。

① 熊本地域地下水総合保全管理計画との連携

（仮称）くまもと地下水財団基本計画の策定に向けて、熊本地域地下水総合保全管理計画を検討するための会議に出席。

ア 熊本地域地下水保全対策担当課長会議出席（計2回）

イ 熊本地域地下水保全対策担当者ワーキング会議出席（計9回）

公 2：地下水質保全対策事業

10,546,980 円

1 硝酸性窒素等汚染物質に係る削減計画（行動計画）作成支援

(1) 水質の詳細調査

① 熊本地域地下水質調査研究（熊本大学との共同研究事業）

地下水質の季節変動や経年変化を把握するため、6市町（熊本市、菊池市、合志市、大津町、菊陽町、益城町）18カ所の水道水源の地下水質を毎月調査している。

また、令和6年度の水質調査結果を報告書により調査実施市町に情報共有。

② 熊本地域湧水状況調査（熊本大学との共同研究事業）

令和6年度をもって熊本地域全体の湧水調査が完了したことから、全調査地点のデータを統計的に解析。各湧水地の特徴や水質についてまとめたデジタルブックを作成。

(2) 市町村ごとの削減計画策定及び対策実施への協力

① 熊本県や関係市町村と地下水保全対策についての情報交換

ア 宇土市硝酸性窒素削減対策会議出席

（令和7年5月29日、12月22日、令和8年3月26日）

イ 合志市硝酸性窒素削減計画策定委員会・部会出席

（令和7年8月27日、10月23日、12月9日、令和8年2月25日、3月17日）

ウ 菊池市地下水対策協議会出席（令和8年1月27日）

エ 熊本市硝酸性窒素対策検討委員会出席（令和8年3月19日）

2 硝酸性窒素等汚染物質に係る削減対策の推進

(1) 施肥の適正化の推進

① 土壌診断助成

土壌診断補助事業を実施する市町村へ助成（市町村が助成した金額の2分の1）。

市町村名	件数	交付確定額（円）
合志市	106（115）	53,000（57,500）
益城町	8（新規）	4,000（新規）

※（）内の数値は令和6年度の実績値

(2) 地下水質保全に寄与する農産物の流通等推進

地下水保全に寄与するくまもとグリーン農業等をウォーターオフセットの取組と連携して推進。

① 熊本県、有識者、関連団体等と取組や活動等の情報を共有

ア くまもと地下水と土を育む農業推進県民会議出席（令和7年7月9日、令和8年2月3日）

公 3：地下水涵養推進事業

45,053,214 円

1 農林業等と連携した地下水かん養対策事業の推進

(1) かん養域における水田の保全

① 水田オーナー制度

企業・団体や個人が水田オーナーとなり、農作業体験や生産者との交流を行いながら、かん養域における水田の保全と地下水かん養を図る「水田オーナー制度」の取組を推進。

持続可能な水環境の啓発を兼ねた事業として大津町真木地区において実施。

ア 田植え：令和 7 年 5 月 7 日・8 日、6 月 7 日・8 日

イ 稲刈り：令和 7 年 8 月 2 9 日、1 0 月 1 1 日・1 2 日

参加企業・団体、個人数	実施面積（㎡）	推定かん養量（㎡）
1 2 企業・団体、4 個人	8, 0 8 4	4 8, 7 9 4

(2) ウォーターオフセットの普及促進

地下水かん養効果が高い地域で栽培された農産物（農産加工品）や飼料として食べさせた畜産物を購入・消費することで地下水保全につなげるウォーターオフセットの普及を推進。

① ウォーターオフセットの広報

ア 水関連イベントでウォーターオフセットを PR

(3) 水源かん養林等の整備・活用

① 水源かん養林「育水の森」の適正管理

ア 育水の森（3 4 ha）の巡視等を実施

(4) 湛水事業の拡大

稲刈り後の冬場の水田に水を張り、年間を通じた地下水かん養の取組として冬期湛水事業を実施。

① 冬期湛水事業

実施地区	面積（ha）	増減
大津町真木地区	1 4. 2（1 5. 2）	－ 1. 0
大津町矢護川地区	1 1. 0（1 6. 5）	－ 5. 5
大津町瀬田地区	7. 6（7. 7）	－ 0. 1
西原村小野・滝地区	7. 3（7. 4）	－ 0. 1
西原村葛目地区	3. 1（2. 9）	＋ 0. 2

御船町南田代第1地区	4. 0 (1. 2)	+ 2. 8
御船町南田代第3地区	3. 5 (2. 3)	+ 1. 2
御船町南田代第4地区	4. 2 (2. 6)	+ 1. 6
益城町津森地区	4. 5 (4. 5)	± 0. 0
甲佐町目野地区	5. 4 (4. 6)	+ 0. 8
菊池市旭志平地区	2. 8 (1. 0)	+ 1. 8
計	6 7. 6 (6 5. 8)	+ 1. 8
推定かん養量 (万m³)	6 0 6. 2 (6 2 7. 2)	- 2 1. 0

※ () 内の数値は令和6年度の実績値

② 冬期湛水事業の募集型寄付

申込総額：21,998,318円(推定涵養量385.93万m³、達成率72.1%)

申 込 者：65件

募集期間：令和7年10月24日～12月19日

2 地下水保全施設の設置推進による地下水かん養対策事業の推進

(1) 地下水保全施設の設置助成と普及促進

雨水浸透ますや雨水貯留タンクの設置を推進するため、補助事業を実施する市町村への助成事業を実施。

① 雨水浸透ます設置助成

市町村名	助成内容		交付確定額 (千円)
	件数	基数	
菊池市	0 (1)	0 (4)	0 (40)
宇土市	0 (0)	0 (0)	0 (0)
合志市	2 (0)	4 (0)	60 (0)
大津町	0 (1)	0 (1)	0 (10)
菊陽町	2 (0)	5 (0)	75 (0)
西原村	0 (0)	0 (0)	0 (0)
御船町	2 (1)	5 (4)	75 (40)
嘉島町	1 (0)	4 (0)	60 (0)
益城町	0 (3)	0 (4)	0 (40)
甲佐町	0 (0)	0 (0)	0 (0)
合 計	7 (6)	18 (13)	270 (130)

※ () 内の数値は令和6年度の実績値

② 雨水貯留タンク設置助成

市町村名	助成内容		交付確定額（千円）
	200ℓ以上	200ℓ未満	
菊池市	1（0）	1（0）	37（0）
宇土市	0（1）	0（0）	0（35）
合志市	6（5）	1（3）	219（193）
大津町	0（3）	0（1）	0（128）
菊陽町	1（1）	2（0）	43（18）
西原村	0（0）	0（1）	0（19）
御船町	1（1）	0（0）	23（33）
嘉島町	0（0）	0（0）	0（0）
益城町	7（9）	2（1）	267（339）
甲佐町	0（0）	0（0）	0（0）
合 計	16（20）	6（6）	589（765）

※（）内の数値は令和6年度の実績値

公4：地下水採取・使用適正化推進事業

14,340,179 円

1 地下水保全活動の推進

(1) 魅力あるくまもとの地下水の情報発信

SNS等の広報媒体やイベント等を通じてくまもとの地下水の魅力を情報発信。

① くまもとの地下水情報のPR

ア オリジナル広報キャラクター「水の精霊みずき」を用いた地下水情報の発信
・YouTube、財団ホームページで動画を放映

イ メディアを活用した情報発信

- ・熊本日日新聞及びYahoo!インターネットの広告に水の日記念シンポジウム開催掲載
- ・くまもと経済に水田オーナー制度の田植え及び稲刈りの記事掲載
- ・山陰中央新報及び朝日新聞、読売新聞に熊本地域の地下水を守る取組の記事掲載
- ・テレビ朝日「しあわせのたね。」出演

ウ SNSによる広報

- ・財団公式FacebookやInstagramで地下水情報を随時発信

エ 水の日記念シンポジウム開催（令和7年8月1日）

- ・トークショー「モッチャンと語ろう！くまもとの地下水量はどうなの！？」
参加者：118名

内容	出演者
元KKTアナウンサーの本橋馨氏をスペシャルMCに迎え、最新技術で“見える化”した熊本の地下水モデルをもとに、地下水量の現状と保全の取り組みやこれからの課題など、参加者の疑問・質問について地下水の有識者がトークを展開	本橋 馨 (株式会社 MY プロデュース、 元 KKT アナウンサー) 細野 高啓 (熊本大学大学院先端科学研究部教授) 川崎 雅俊 (サントリーホールディングス(株)未来事業 開発部課長、 Water Scape(株) 代表取締役社長)

オ 第 28 回日本水大賞審査部会特別賞受賞

(2) 地下水保全意識の向上

地下水保全に取り組む企業・団体の顕彰など地下水保全の機運醸成と取組の輪を広げるための活動を推進。

① 地下水保全顕彰制度の実施

ア 令和 7 年度募集 (令和 7 年 6 月 24 日～10 月 17 日)

・ 認定の部 4 企業が応募

イ 令和 7 年度地下水保全顕彰委員会 (令和 7 年 12 月 18 日)

・ ゴールド 2 企業、シルバー 2 企業を認定

ウ 令和 7 年度地下水保全顕彰制度認定書交付式 (令和 8 年 2 月 12 日)

② 育水会の充実

ア くまもと育水会 (財団会報誌) Vol. 24 発行 (令和 8 年 3 月)

イ 地下水倶楽部 (キッズ・学生会員向け会報誌) Vol. 10 発行 (令和 8 年 3 月)

③ 次世代人材育成活動

ア ユース水フォーラムくまもとオープンキャンパスに参画

イ ユース水フォーラムくまもと主催「熊本の水文化ゼミ」に参画

ウ アドバンストプログラムの開催

(3) 水環境教育・啓発活動の推進

様々な世代のニーズに応じた水環境教育を推進し啓発イベント等により地下水保全意識を醸成。

① 出前講座

ア 熊本製粉株式会社社員研修 (令和 7 年 4 月 18 日)

・ 内 容：熊本地域の地下水

・ 参加者：15 名

イ 西日本シティ銀行熊栄会会員向けセミナー (令和 7 年 6 月 12 日)

- ・内 容：熊本地域の持続的な地下水保全
- ・参加者：１６名
- ウ 富士フイルム地下水涵養田２０２５田植えイベント（令和７年６月２２日）
 - ・内 容：くまもとの地下水
 - ・参加者：１００名
- エ 菊池市隈府小学校４年生向け授業（令和７年７月１６日）
 - ・内 容：くまもとの地下水
 - ・参加者：８７名
- オ 地下水の親子向けセミナーin TSUTAYA BOOKSTORE 菊陽
(令和７年８月１０日)
 - ・内 容：水の実験
 - ・参加者：親子１２組（３２名）
- カ 地下水の親子向けセミナーin TSUTAYA さくらの森店（令和７年９月２７日）
 - ・内 容：水の実験
 - ・参加者：親子３組（７名）
- キ 嘉島町嘉島中学校１年生向け授業（令和７年１０月１６日）
 - ・内 容：熊本地域の地下水
 - ・参加者：１６名
- ク 大津町大津小学校５年生向け授業（令和７年１１月２７日）
 - ・内 容：くまもとの地下水
 - ・参加者：１５３名
- ② 地下水の勉強会
 - ア くまもと育水会会員向け勉強会開催（令和７年１２月３日）
 - ・内 容：地下水保全に取り組む企業の事例紹介、地下水保全に関するワークショップ
 - ・講 師：アデル・カーズ株式会社、サントリーホールディングス株式会社
 - ・参加者：３６名（講師含む）
 - イ 行政会員向け勉強会開催（令和８年３月５日）
 - ・内容：地下水モニタリングシステムの概要と利用方法について
 - ・講師：WaterScape(株)代表取締役社長 川崎 雅俊 氏
 - ・参加者：１４名
- ③ 啓発活動等
 - ア 「水道フェスタ２０２５くまもと」にてブース出展(令和７年１１月２２日)
 - イ 熊本ヴォルターズ「水フェス」ブース出展（令和８年３月１４日、１５日）

２ 地下水の適正利用の推進

（１）節水活動推進

- ① 県、市町村、水関連団体、企業等と連携した節水啓発活動を推進
ア くまもと育水会会員に節水啓発チラシ、シールを送付

(2) 量水器等の設置助成と普及促進

地下水の適正利用推進のため、量水器等の設置費用の一部を助成。

① 量水器等設置助成

区分	件数	基数	交付確定額（円）
量水器	3（0）	8（0）	1, 0 7 5, 0 0 0（0）

※（）内の数値は令和6年度の実績値